

令和 7 年 6 月定例会

予算決算委員会資料
(企画財政部)

秋田市シティプロモーション推進事業について

1 目的

「若者の挑戦を応援するまち」のブランディングを図り、地域人材の育成とシティプロモーションを推進する。

2 予算額

(単位：千円)

	事業費	特定財源		一般財源	
		国(※)	諸収入	〔うち企業版 ふるさと納税〕	
当初	13,275	6,059	700	6,516	(5,363)
6月補正	8,978	4,039	-	4,939	(4,939)
計	22,253	10,098	700	11,455	(10,302)

※ 新しい地方経済・生活環境創生交付金

3 補正内容

補正予算額 8,978千円

(1) 秋田アカデミー（秋田留学）

負担金 1,628千円

地方で自身を磨き、地方での未来に希望を持つことができる人材の育成

支出先	秋田市未来創造人材育成・プロモーション事業実行委員会
事業概要	【県内外の高校生】 地方創生に興味関心のある高校生が、映像制作や地域の起業家、市内大学の教員等と交流するワークショップを開催する。 【県内外の大学生】 卒業後に本市で活躍する進路を具体的にイメージしてもらうため、地域で活躍する起業家等との交流や、地域の活性化などに関するワークショップを開催する。
内 訳	会場使用料、講師料、機材レンタル費用、教材制作費用等

(2) ハリウッドでのクリエイター育成・プロモーション 負担金 7,350千円

世界を視野に入れた地域人材の育成とシティプロモーションの実施

支出先	ミラーライアーフィルムズプロジェクト（令和5年協定締結先）
事業概要	・クリエイターの発掘・育成を目指すハリウッドの映画祭で、令和5年度から実施してきた本市の映像制作事業における人材育成の成果を発表し、本市のシティプロモーションを行う。 ・世界の映画製作や海外マーケットを学ぶため、現地クリエイターと、映像制作に携わった本市の学生等がワークショップを行う。
内 訳	・ワークショップ費用 3,300千円 機材借上げ・スタジオレンタル・講師料等 ・渡航経費 4,050千円 10～11月の4泊6日 9名(学生5名、実行委員2名、職員2名)分を予定

友好・姉妹都市交流推進事業（米国ロチェスター市訪問団受入事業）について

1 事業目的

米国ミネソタ州ロチェスター市からの訪問団を受け入れ、市長同士の意見交換や市民間交流を通して、両都市間の友好関係を促進するもの。

2 訪問団受入れまでの経緯

平成4年	商工会議所等の主催で秋田空港からロチェスター空港までチャーター便を飛ばし、市民等約300人が交流する「21の翼プロジェクト」が実施された。
平成5年	ロチェスター市訪問団が本市を訪問し、その後も市民主体の交流が続いた。
平成18年	本市から市長ほか5名がロチェスター市を訪問し、市長表敬、夕食会のほか、高度な医療技術や幅広い診療科を誇ることで世界に名高いメイヨークリニックの視察等の対応を受けた。
令和5年	9月に現ロチェスター市長から交流再開を希望する親書が届き、「相互に有益な分野で交流開始することが第一歩」と返答した。
令和6年	5月にロチェスター市長の意向を受けた国際交流委員会から「来年8月に訪問団を派遣したい」との連絡を受け、これまでの経緯やメイヨークリニックがあるロチェスター市との交流は有益との判断により、訪問団を受け入れる方向で調整することとした。
令和7年	4月にロチェスター市長から改めて訪問団の受入れを依頼する親書が届いた。

3 事業概要

予算額 620千円

(1) 滞在日程

【訪問者】市長、議員、市民（25名）

8/11(月)	秋田着
8/12(火)	市長表敬、意見交換、視察、歓迎会（秋田市主催）
8/13(水)	視察
8/14(木)	秋田発

(2) 事業費内訳

市内の移動費や8/12の昼食、歓迎会開催経費等は本市が負担し、それ以外はロチェスター市が負担する。

費目	予算額（単位：千円）	内容
報償費	44	通訳謝金
需用費	458	記念品、歓迎会食料費等
役務費	13	文書翻訳料等
使用料及び賃借料	105	自動車借上料等
合計	620	